

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	土屋 斎嘉	使用教科書「詳説 世界史」 (山川出版社)
必履修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		補助教材 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社) 「ポイントレクチャー テーマ別世界史」 (山川出版社)

◆学習の目標

- ・世界の歴史を総合的に理解させ、歴史的な見方・考え方を育て、国際社会に主体的に生きる公民としての資質を養う。
- ・各地域世界の成立過程について深く学習してその特徴を知り、現代の各地域や諸国の歴史的・文化的背景を理解させることを重要な目標とする。
- ・大学への進路実現を目指し、受験に対応できる学力を培う。

◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書第12章以降中心
- (2) 教科書を中心教材として、随時副教材を使用しながら、講義形式・演習形式で学習する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔標準〕

- ・20世紀以降の世界の歴史的諸事象の内容を正確に理解し、時系列上での的確に把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。

〔応用〕

- ・現代世界の特質や諸課題を、歴史的観点から史料を活用して考察し、表現する。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○思考・判断・表現

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1 学期 (26時間)	2 学期 (28時間)	3 学期 (16時間)
------	------	-------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<p>予習…教科書を事前に通読する。教材プリントを行う。</p> <p>復習…板書ノートと教科書・「最新世界史図表」等に関連させて、整理する。</p> <p>課題…演習プリントを適時行う。</p> <p>その他…補習や夏季補習も授業と関連させて、活用することを勧める。</p>
--

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	「諸地域の結合・変容」	8	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・世界恐慌をもたらした要因とファシズム勢力の台頭について理解できる。
	5	「地球世界の課題」	8	冷戦と第三世界の台頭	・第二次世界大戦の過程とその歴史的意義を理解できる。
	6		4	冷戦の終結と今日の世界	・戦後世界秩序の形成について表現できる。
	7		4	地球世界の課題の探究	・米ソ冷戦の激化の過程を理解できる。
2 学期	8	地域史 ・テーマ史演習①	28	大学入試問題演習	・戦後経済の復興の過程を地域別に理解できる。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	地域史 ・テーマ史演習②	16	大学入試問題演習	・第三世界の台頭の歴史意義を説明できる。
	2				
	3				